

| | | | |
|----------|--|-----|--|
| 科目 | 倫理 (Ethics) | | |
| 担当教員 | 手代木 陽 教授 | | |
| 対象学年等 | 応用化学科・2年・通年・必修・2単位 (学修単位I) | | |
| 学習・教育目標 | C3(20%), D1(80%) | | |
| 授業の概要と方針 | 現代社会において私たちはいかに生きるべきであろうか.人間として「よく生きる」ことを先人たちの思想や現代社会の問題を通して学び,自らの生き方を考える姿勢を身につける. | | |
| | 到達目標 | 達成度 | 到達目標別の評価方法と基準 |
| 1 | [C3]青年期の特徴を理解し,自らの問題として考えることができる. | | 青年期の特徴についての理解度と,自らの問題として考えることができるかをレポート課題で評価する. |
| 2 | [C3]「思想の源流」と言われる先人の倫理思想を正しく理解できる. | | ギリシャの思想の理解度をレポート課題で,キリスト教,イスラーム,仏教の理解度を前期定期試験で,中国思想の理解度を後期中間試験で評価する. |
| 3 | [C3]現代社会の前提となった近代の倫理思想を正しく理解できる. | | 近代における人間の尊厳,科学革命と自然観,民主社会の思想の理解度を後期中間試験で評価する. |
| 4 | [C3]現代社会における倫理的問題を正しく理解できる. | | 高齢社会,グローバル化,情報社会,生命倫理,環境倫理の問題についての理解度を後期定期試験で評価する. |
| 5 | [D1]現代社会における倫理的問題について自分の意見を矛盾なく展開できる. | | 現代社会における倫理的問題について自分の意見を矛盾なく展開できるかを中間・定期試験の作文問題とレポート課題で評価する. |
| 6 | | | |
| 7 | | | |
| 8 | | | |
| 9 | | | |
| 10 | | | |
| 総合評価 | 成績は,試験80% レポート20% として評価する.レポート評価には授業の課題,自主課題のレポート評価とノートの評価が含まれる.なお,試験成績は前期は定期試験の成績,後期は中間試験と定期試験の平均点とする.100点満点で60点以上を合格とする. | | |
| テキスト | 「高等学校 倫理」越智貢他(第一学習社) 「アプローチ倫理資料PLUS」(東京法令) | | |
| 参考書 | なし | | |
| 関連科目 | 哲学 | | |
| 履修上の注意事項 | なし | | |

授業計画(倫理)

| | テーマ | 内容(目標・準備など) |
|----|------------------------------|---|
| 1 | 「倫理」とは | 「倫理」という言葉の意味を漢字の成り立ちから考える。1年間の授業の概要、評価方法について説明し、最近のニュースの中から倫理的問題を取り上げる。 |
| 2 | 青年期の課題と自己形成(1) | 青年期の特徴、青年期の発達課題としてのアイデンティティの確立、パーソナリティと性格、欲求と適応などの問題を解説する。 |
| 3 | 青年期の課題と自己形成(2) | 青年期に特有の恋愛や性の問題について考える。セクシュアル・ハラスメントなどの社会問題も取り上げる。 |
| 4 | 人間としての自覚 | 人間の歴史の最初期において人間の生き方を導いた「思想の源流」について解説する。 |
| 5 | ギリシャの思想(1) | 初期自然哲学の形成、ソフィスト、ソクラテスの思想について解説する。 |
| 6 | ギリシャの思想(2) | ソクラテスの死の意義について考える。国法を尊重するとはどういうことか、憲法改正の問題を通して現代のわれわれの問題として考える。 |
| 7 | ギリシャの思想(3) | プラトン、アリストテレスの思想について解説する。 |
| 8 | 2-7回目までの復習 | 青年期の課題と自己形成、ギリシャの思想の範囲で練習問題を行う。 |
| 9 | キリスト教(1) | 練習問題の解答・解説をする。新約聖書から「放蕩息子の物語」を取り上げ、信仰するとはどういうことか考える。旧約聖書とユダヤ教の思想について解説する。 |
| 10 | キリスト教(2) | 新約聖書とイエスの思想について解説する。 |
| 11 | イスラーム(1) | イスラームの成立史と信仰の特徴について解説する。 |
| 12 | イスラーム(2) | 「シャルリー・エブド事件」を通して政教分離の社会とイスラーム社会の関係のあり方を考える。 |
| 13 | 仏教(1) | 仏教の成立史とゴータマ＝シツダッタの思想について解説する。 |
| 14 | 仏教(2) | 日本仏教の展開について解説する。 |
| 15 | 中国思想 | 前期定期試験の解答・解説をする。孔子、孟子、荀子の儒家思想について解説する。 |
| 16 | 現代の特質と倫理的課題 | 現代社会の諸問題を考えるためにはその土台になっている近代思想の特徴を理解し、反省と修正を必要があることを解説する。 |
| 17 | 人間の尊厳(1) | 「人間の尊厳」とは何かを、その思想的源泉であるルネサンスまで遡って考える。 |
| 18 | 人間の尊厳(2) | 人間の尊厳を「人格」に見出したカントの思想を解説し、自由とは何かを考える。 |
| 19 | 人間の尊厳(3) | 再生医療と人間の尊厳の問題について考える。 |
| 20 | 近代の科学革命と自然観 | 近代科学の自然観と合理論、経験論の思想について解説する。 |
| 21 | 自由で平等な社会の実現(1) | すべての人間の平等を目指す民主社会の思想的源泉を17-18世紀の社会契約説に遡って解説する。 |
| 22 | 自由で平等な社会の実現(2) | ヘーゲルの人倫と18-19世紀の功利主義の展開について解説する。 |
| 23 | 後期中間試験 | 中国思想、人間の尊厳、近代の科学革命と自然観、自由で平等な社会の実現の範囲で試験を実施する。 |
| 24 | 現代の諸課題と倫理(1) | 後期中間試験の解答・解説をする。高齢社会の問題を現代の家族の変容との関係において解説する。 |
| 25 | 現代の諸課題と倫理(2) | グローバル化が進む世界の現状を解説し、国際支援や異文化理解について考える。 |
| 26 | 現代の諸課題と倫理(3) | ネットワーク社会と情報モラルの問題を解説する。AIの進化と共存の可能性について考える。 |
| 27 | 現代の諸課題と倫理(4) | 生命倫理について概説し、生殖補助医療技術の倫理的問題について考える。 |
| 28 | 現代の諸課題と倫理(5) | 臓器移植、終末期医療の倫理的問題について考える。 |
| 29 | 現代の諸課題と倫理(6) | 環境倫理について概説し、市場社会システムで地球温暖化問題を解決できるか考える。 |
| 30 | 現代の諸課題と倫理(7) | 後期定期試験の解答・解説をする。「救命ボート」の思考実験を通して格差にどう対処するか考える。 |
| 備考 | 前期定期試験、後期中間試験および後期定期試験を実施する。 | |